



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社アテクト 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小高 得央
 問合せ先責任者 (役職名)管理ディヴィジョンリーダー (氏名)飯野 磨 TEL (072)967-7000
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	897	13.8	62	—	21	—	△7	—
22年3月期第1四半期	788	△26.7	△12	—	△21	—	△43	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△2 26	— —
22年3月期第1四半期	△12 97	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	4,204	1,547	36.3	458 05
22年3月期	4,386	1,614	36.4	479 37

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,527百万円 22年3月期 1,598百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	— —	— —	— —	10 00	10 00
23年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
23年3月期(予想)	— —	— —	— —	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	2,069	22.9	162	427.3	142	926.7	93	—	27 96	
通期	4,111	22.4	285	417.5	247	483.8	176	—	53 02	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 () 除外 一社 ()
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	3,506,000株	22年3月期	3,506,000株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	172,097株	22年3月期	172,097株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	3,333,903株	22年3月期1Q	3,333,903株

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
(5) 役員の変動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 個別業績の概要	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社および子会社の構成

- ① (株)アテクト…当社、半導体資材事業、衛生検査器材事業
- ② (株)アテクト코리아…半導体資材事業、韓国
- ③ トライアル(株)…ポリマー微粒子事業、平成20年1月子会社化
- ④ (株)ダイプラ…プラスチック造形事業、平成20年4月子会社化
- ⑤ アテクト・プログレッシヴ・アンド・イノヴェイティヴ・マニュファクチャリング(株)…P I M事業、平成22年1月子会社化

当社グループの当第1四半期の売上高は前年同期比13.8%増の897百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益62百万円（前年同期営業損失12百万円）、経常利益は営業外費用において急激な円高により為替差損31百万円の計上により21百万円（前年同期経常損失21百万円）、四半期純利益は特別損失において資産除去債務会計基準適用に伴い1百万円の計上および子会社の四半期純損失の計上により、7百万円の損失（前年同期四半期純損失43百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、北米市場における景気の回復、中国市場における景気対策である「以旧換新」政策の地域拡大及び期間延長や新興国での需要も強く、パネルディスプレイの市場は堅調に推移しました。このため、当社主力製品であるスペーサーテープの販売は好調に推移いたしました。

以上の結果、半導体資材事業の売上高は前年同期比25.0%増の494百万円となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、シャーレや培地の低価格競争の激化により、売上高が伸び悩んだ状況で推移いたしました。このような中、主力であるシャーレの製造ラインを、原価低減を図るために新規稼働させ、収益改善を図っております。今後、商品の低価格競争は続く予想されることから、製造原価の低減につながるような生産効率を実現する設備投資を積極的に行い、利益の確保を図ってまいります。

現在設立準備中の中国子会社の立ち上げ後は、中国国内での販売を早期に実現させ、当事業製品の販売拡大を図ってまいります。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は前年同期比1.2%減の336百万円となりました。

③ プラスチック造形事業

プラスチック造形事業につきましては、依然、エンドユーザー各社の新規開発案件の縮小、設備投資の見合わせ、既存製品の受注減等の影響が続き、受注が伸び悩んでおります。

主力製品であるF P D製造設備向け部材においては、半導体メーカーのライン増設に向けた試作生産の受託が当第1四半期に実績として入っております。半導体製造設備資材は回復基調にあり、太陽電池向けの生産治工具や、半導体洗浄用バルブのケーシングなどの受注は単発発注から継続発注に転じ、全体的な設備稼働率が上昇しております。

その他工業用部品関連につきましては、蒸気プラントメーカー向けに超エンブラでの成形品の受託に成功し、現在金型製作に着手しており、自動車車載用電池部品の試作量産の受注をうけ、将来車載用電池部品に関する量産受注を目指して取り組んでおります。

以上の結果、プラスチック造形事業の売上高は前年同期比39.1%増の58百万円となりました。

④ ポリマー微粒子事業

ポリマー微粒子事業につきましては、自動車業界における研究開発費の支出抑制等の引き締めが強い状況であります。その状況の中、国内試作メーカーへ新規開拓を継続して実施しております。新規分野開拓としましては、遮熱塗料用コンポジット粒子の開発にも着手いたしました。また平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業である「磁性体担持カーボンマイクロコイルを用いた超広域電波吸収体」の研究開発に2年目も参画する予定であります。

以上の結果、ポリマー微粒子事業の売上高は前年同期比16.6%減の9百万円となりました。

⑤ P I M事業

P I M (パウダー・インジェクション・モールドィング) 事業につきましては、金属射出成形用材料やセラミック射出成形用のそれに加え、自動車向けのセラミック製放熱部材の試作品受注に成功しました。また、L E D用放熱基板の開発を進め、商品化に向け弊社試作品の物性データ集積のための測定を開始しました。金属部品では将来のグローバル市場をターゲットに、チタンを扱った商品化に向け開発に着手いたしました。

以上の結果、P I M事業の売上高は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ4.1%減の4,204百万円となりました。

総資産の主な減少要因は、流動資産において「現金及び預金」が211百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ4.1%減の2,657百万円となりました。

負債の主な減少要因は、「長期借入金」が131百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4.1%減の1,547百万円となりました。

純資産の主な減少要因は、「利益剰余金」が40百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これに伴う損益に与える影響額は軽微のため記載は省略しております。

2. 表示方法の変更

前第1四半期連結会計期間において、区分掲記しておりました「受取配当金」は、当第1四半期連結会計期間で営業外収益の「その他」に含めております。なお、当第1四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取配当金」は20千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

(5) 役員の変動

その他の役員の変動（平成22年7月16日）

退任取締役 伊井 稔（急逝のため）

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	596,075	807,721
受取手形及び売掛金	634,838	657,533
商品及び製品	234,530	204,620
仕掛品	25,522	33,635
原材料及び貯蔵品	165,313	178,950
繰延税金資産	33,233	39,948
その他	62,824	54,194
貸倒引当金	△2,149	△2,180
流動資産合計	1,750,190	1,974,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	716,087	741,153
機械装置及び運搬具（純額）	446,886	405,807
土地	918,094	918,094
建設仮勘定	125,753	97,954
その他	39,641	25,213
有形固定資産合計	2,246,464	2,188,224
無形固定資産		
のれん	113,251	123,536
その他	23,508	23,550
無形固定資産合計	136,760	147,086
投資その他の資産		
投資有価証券	1,804	1,862
繰延税金資産	9,247	9,466
その他	61,775	66,806
貸倒引当金	△1,576	△1,772
投資その他の資産合計	71,250	76,362
固定資産合計	2,454,475	2,411,673
資産合計	4,204,665	4,386,097

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,994	427,401
短期借入金	667,960	649,260
1年内返済予定の長期借入金	552,877	599,002
未払金	61,479	85,103
未払法人税等	25,889	91,042
賞与引当金	19,556	45,778
設備関係支払手形	41,980	13,386
その他	148,845	100,613
流動負債合計	1,982,582	2,011,586
固定負債		
社債	97,966	97,763
長期借入金	380,706	512,575
リース債務	183,880	139,783
その他	12,402	10,278
固定負債合計	674,955	760,400
負債合計	2,657,537	2,771,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	365,409	406,282
自己株式	△99,406	△99,406
株主資本合計	1,645,293	1,686,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	283	317
為替換算調整勘定	△118,474	△88,303
評価・換算差額等合計	△118,191	△87,986
新株予約権	20,026	15,931
純資産合計	1,547,127	1,614,110
負債純資産合計	4,204,665	4,386,097

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	788,795	897,801
売上原価	553,171	571,234
売上総利益	235,623	326,567
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	67,583	73,309
賞与引当金繰入額	4,424	11,881
貸倒引当金繰入額	492	—
その他	175,316	178,522
販売費及び一般管理費合計	247,817	263,713
営業利益又は営業損失(△)	△12,193	62,853
営業外収益		
受取利息	12	548
受取配当金	20	—
受取補償金	178	—
その他	525	1,507
営業外収益合計	736	2,055
営業外費用		
支払利息	8,311	7,131
社債利息	—	302
減価償却費	—	2,714
為替差損	1,285	31,010
その他	94	1,916
営業外費用合計	9,690	43,077
経常利益又は経常損失(△)	△21,147	21,832
特別利益		
固定資産売却益	209	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
固定資産除却損	4,467	18
固定資産売却損	156	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,282
特別損失合計	4,623	1,300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,561	20,532
法人税、住民税及び事業税	16,102	21,107
法人税等調整額	1,569	6,958
法人税等合計	17,671	28,065
四半期純損失(△)	△43,233	△7,533

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
該当事項はありません。

4. (参考) 個別業績の概要

1. 平成23年3月期第1四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	825	13.6	93	74.7	56	26.0	29	39.0
22年3月期第1四半期	726	△21.2	53	△49.5	44	△56.9	21	△56.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	8	84	8	78
22年3月期第1四半期	6	36	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	4,799		2,229		46.0	662	64
22年3月期	4,904		2,229		45.1	663	81

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,209百万円 22年3月期 2,213百万円

2. 平成23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	1,608	4.0	112	△17.4	110	△8.9	61	4.1	18	31
通期	3,091	△0.4	154	△37.3	153	△34.7	82	△31.7	24	89